



時代を拓き 世界に貢献する人を目指して

Global View

2021 年 10 月 23 日 Newsletter 第 68 号 仙台白百合学園中学・高等学校 国際教育部

「逆境の中にあっても」

国際教育部部長 大和田 美子（英語科）

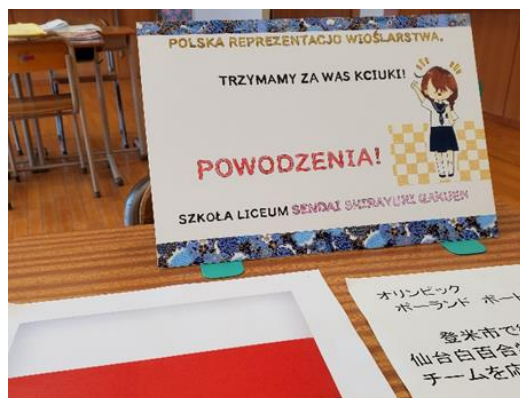
世界 205 カ国、1 万 1 千人の選手たちが集結した「東京オリンピック 2020」。世界を覆った苦難の中で開催されたオリンピックでしたが、選手たちは日々積み重ねた力と技を熱く競いあいました。スケートボードやスポーツクライミングといった新競技では若い力が活躍し、互いに励ます姿は競技の新しいスタイルを見せてくれました。オリンピックは逆境のなかにあっても前に進んで行く勇気と希望を全世界に届けてくれました。

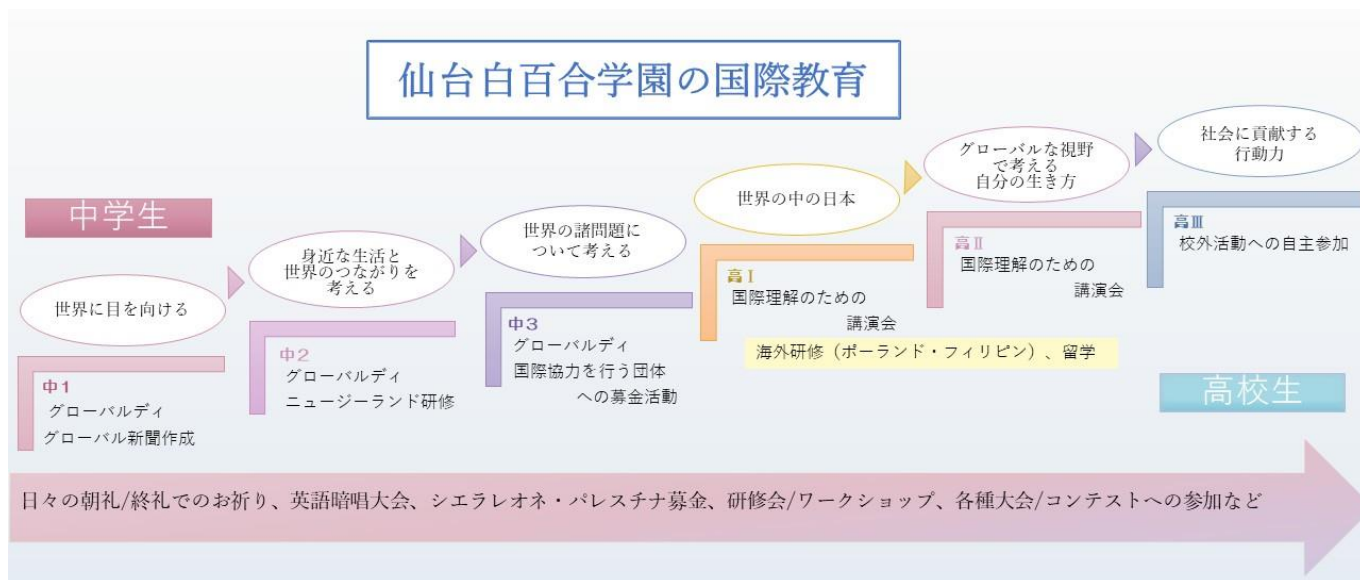
今回、中学 3 年 2 組の森崎安加里さんが聖火ランナーを務めた際のトーチが図書室前で展示されましたが、私たちも世界とつながっているという気持ちを高めてくれました。宮城県では、複数の市町村がホストタウンとして海外のオリンピック選手たちのバックアップをしました。仙台白百合学園は震災以来、ポーランドの日本語学校と交流を続けていますが、ポーランドのボートチームは登米市で事前合宿をおこないました。オリンピック開催が決まってから、短期間での合宿期間でしたが、仙台白百合学園からもボートチームに応援メッセージをお送りしました。美術部顧問の佐藤かな先生のお力をいただき、中学 3 年 3 組の門脇茉奈さんが描いた白百合の制服姿の可愛いキャラクターが POLSKA REPREZENTACJO WIOŚLARSTWA, TRZYMAMY ZA WAS KCIUKI! POWODZENIA! 「ポーランドのボートチームのみなさん、みなさんの健闘と幸運を祈ります！」と応援している素敵なメッセージボードです。新聞の記事をみますと、ボート女子 4 人（スカル）チームが銀メダルを獲得したということで、とてもうれしいです。

新型コロナの影響で、今年度のポーランド友好訪問や中 2 ニュージーランド研修は実施できませんが、後期になって高校生はポーランドフレンドシップメンバーの募集があり、月に 1 度、オンラインでの定期的なオンライン交流が始まりました。また中学生対象に 11 月 20 日（土）に「3 カ国（ニュージーランド・アメリカ・ポーランド）をまわる、仙台白百合オリジナルオンライン海外研修」が行われます。その他、学年ごとに世界に目を向け、共に考える機会となる国際教育講演会も準備しています。

日本は震災の時に、また今回のオリンピック、パラリンピックでも、逆境の中にあって人々と繋がり、最善を尽くして、信頼と敬意を海外の国々からいただけてきています。

仙台白百合学園も今まで培った海外とのつながりを大切にしていきたいと思います。すべては小さな取り組みから始まったことを忘れずに、困難を乗り越えていきましょう。





中学2年生 SP タイム オンライン講演会「韓国と日本の歴史～カトリック的視点から」

6月9日・16日、白百合女子大学国際交流オフィス主催のオンライン講演会に参加しました。講師の李相源神父様(カトリック祇園教会主任司祭/清心幼稚園園長)から、韓国と日本の歴史についてお話をいただきました。姉妹校の関係者約100名がオンラインでつながることができました。

中学2年1組 安部 千代さん

私は先日李神父様のお話を聞いて、『官民連携』という言葉について考えました。私は、『官民連携』という言葉に対して、聞いた事はあっても、特別意識した事はありませんでした。李神父様のお話で、韓国では『民官連携』というような表現で広まっているということを知り、驚いたと同時に何故官民の順番が日本と韓国とでは違うのだろうか疑問に思いました。日本では『官民』、つまり政府の後に国民がくる。韓国では『民官』、つまり国民の後に政府がくる。言葉一つひとつにそのような国によっての『物』の考え方の違いが出てくる。このようなことを心に留め、これからは、言葉の意味をよく考え、分からなければ調べて、自身のものにしていき、多角的な視点を常に持っていきたいと考えました。



中学2年1組



中学2年2組



中学2年3組

中学3年生 SP タイム「地球的課題の探究」

5月14日の SP タイムで、阿部和彦先生に「国際協力」について講演をしていただきました。今の時代だからこそ、グローバルな視点に立って物事を考えることが求められるというお話からはじまり、国際的課題と私たちのつながり、そして、課題を解決するための SDGs の達成によってよりよい地球を次世代につないでいくことの重要性についてお話をいただきました。実際に世界各地を訪問されたことのある和彦先生の話は、どれも興味をひきつけられるものばかりで、様々な現状を知るとともに地球的課題に対する関心を深める第一歩となりました。

私が今日一番心に残ったのは、世界中の人が生きていくのに必要な穀物の量の 2 倍を生産しているのに、それを得ることができていない国がある、という事です。しかも 40% を先進国が使っていて、日本では 3 分の 1 を家庭で捨てていると聞いて、とても衝撃を受けました。私たちが捨てている 3 分の 1 を全て貧しい人々の為に送ったら、どれだけの人が食料を手に入れられるのか、それによって亡くなってしまう命がいくつ救えるのか、と考えたら、とても申し訳ないなと思いました。日本は豊かな国で、学習環境にも恵まれていて、毎日 3 食ご飯が食べられているこの生活が当たり前ではないのだと、分かってはいたつもりでも改めて深く実感させられました。

また、東日本大震災によって、いつもは援助する側の日本が一気に弱い立場になった時に、シエラレオネという世界一貧しい国でさえも自分のご飯のためのお金を浮かせてまで日本の為に協力してくれていたのを知って、国を越えた協力関係というのはとても大切なのだと感じました。これからは義務的に募金するのではなくて、募金の背景には何が隠されているのかきちんと考えていきたいなと思います。

中学3年2組 大沢 希

阿部和彦先生の講演で得た学びを活かし、5月21日(金)から6月4日(金)にかけて、「地球的課題の探究」に取り組みました。SDGsの[1]「貧困をなくそう」・[2]「飢餓をゼロに」・[3]「すべての人に健康と福祉を」・[4]「質の高い教育をみんなに」・[6]「安全な水とトイレを世界中に」・[16]「平和と公正をすべての人に」のうち、関心の高い目標を1つ選び、それに基づき探究テーマを設定し、課題(現状)とその解決についてまとめる「ビジュアルマップ」を作成しました。本やインターネットを用いて熱心に調べ、考えを深め、そしてパワーポイントに工夫してまとめる姿が印象的でした。

2 年 次

栄養不良の現状

●重度の栄養不良に陥っているひとの比率は、2014年8.3%から2019年には9.7%まで上昇、2019年には6億9000万人が栄養失調で、2014年から6000万人近く増加している。

●2020年新型コロナウイルス、パンタの大量発生一帯アフリカ6カ国とイエメンで3500万人が深刻な食糧不安に

飢餓はなぜ起こるのか

●食料がないから食べられない

異常気象

●食料があるが食べられない

お金がなく購入できない(バナナの生産者の収入は消費者が払う価格の1%未満)

生産力の回復と現金収入の向上が必要!

3年1組6番加来あい

フェアトレード

貧困のない公正な社会をつくるために、途上国の経済的社会的に弱い立場にある生産者と経済的社会的に強い立場にある先進国の消費者が対等な立場で行う貿易

このマークが目印!

家でできること

●食べ残しを減らす

日本では年間1900万トンの食料が捨てられている。これは日本では消費される食料約9100万トンのうち、20%が捨てられていることになる。1900万トンのなかには野菜や果物の芯などの食べられない部分も含まれるが、食べられるはずの部分で500~900万トン含まれている。つまり、ごみになったうちの1/4は食べられたはずの食品!

●必要のない食品を買わない

16 平和と公正をすべての人に

シリアの内戦の子ども兵士たち

3年3組1番 名前 安部 裕葉々

子ども兵とは... 誘拐などにより半ば強引に参加させられる子供の兵士のこと

シリア内戦の現状

反政府組織とアサド政権による内戦によって、多くの民間人もともに犠牲になっている。

子ども兵の推定 3万人

多くが12歳未満の外国から来た子供

中でも子供たちが深刻な問題の1つ!

消耗品のように使われる→すぐに補充可能なため

危険で辛い仕事内容

・地雷除去作業、爆薬、重い荷物運び、性的虐待(少女兵)

経度温度→厳しい体調 体の一部が切断、死別

他の子供に病を伝える役割をやらせることも...!!

他にも...慰問や家族を繋ぎ合わせたり、薬物でコントロールしたり

ひどいことたくさん行われている!

子ども兵への解決策は?

・ユニセフ

子ども兵の解放の奨励

帰ってきた子どもたちの医療ケア

心理社会的サポートなど

社会復帰するための学習もしている!

それはシリアの子供だけでなく、各地の子供にも

例えば...アフガン、カンボジアなど。

(学習のまとめとして行った、クラスごとの発表を終えての感想を紹介します)

様々な人のテーマや発表を聞いたり、自分で調べたりして、世界には生活することはおろか、明日生きることもしないかもしれない人々が大勢いることが改めて分かりました。沢山の課題がありすぎて課題を完全に解決するのは難しいだろうなとは思いますが、自分たちができる募金や生活を見直すなど一人一人が協力することで未来が前向きに向かっていってほしいです。世界の人々が一人の人間として平等に、すべての子どもたちが大人になっていけるような未来を築くために協力していきたいです。

中学3年3組 櫻井裕希

国際協力についての講演を通して、世界で起こってしまっている児童労働と私たちの消費行動とのつながり(安くチョコレートを買える背景には不当な賃金で働かされている人がいる)、今も終わりがみえない紛争の現状と私たちが使うスマートフォンとのつながり(電子機器の材料として使用される貴重な資源をめぐる争いが起こっている)等、国際的・地球的課題は決して他人事ではなく、私たちにも関わるものなのだと生徒たちは大きな気づきを得ました。その後の探究活動で得たことは、これから“Think globally, Act locally”(=地球規模で考え、地域で行動する)を実践していくための足掛かりになったのではないかと思います。

今回の学びをきっかけに、今後も世界で起こっていることを「自分ごと」として捉え、関心をもち、解決のためにできることを考え続ける姿勢を身につけていってもらえればと願っています。(SP 担当 山本明里)

白百合留学について

白百合留学 エントリーシステム



仙台白百合学園から留学した生徒は 400 名を超えます。本校で長年培ったノウハウで留学サポートを行います。「白百合留学エントリーシステム」に登録した生徒には、Classi を通じて、留学に関する情報を配信します。登録を希望する方は、国際教育部部長の大和田先生までお願いします。少しでも留学に興味がある方は、国際教育部までお問い合わせください。

◆留学フェア 2021 (6 月 24 日)



◆留学進路講演会 (9 月 29 日)



LE コース (英語・留学) II 年生の留学中の様子

新型コロナウイルス感染症の流行によって、昨年から日本国内でも世界規模でも人の移動が抑制されるようになったことは、みなさんもお存じのとおりです。その結果、国を越えて移動する留学生の受け入れにも大きな制限がかかることになりました。昨年度までの LE の先輩方はオーストラリア、ニュージーランド、カナダの 3 か国から自分の希望する国を選んで一年間の留学をしてきました。今の高校 II 年 4 組 LE コースの生徒たちは、14 名中 12 名が 3 か国中唯一高校留学生の入国を認めているカナダに留学中で、2 名がこの学園内で学びを継続しています。学園内での学びを選んだ生徒たちは、留学したクラスメイト達のたちのことを思いながら、日々の授業を大切に、できる限りの英語力を身につけ様々な体験をしようと意欲的に学習を続けています。留学中の生徒達も、留学生の多くが直面する孤独や不安、言葉／文化の壁などに体当たりで乗り越えながら、日々の経験を味わっているようです。留学中は、毎月レポートを提出することになっていて、丁寧に書かれたレポートからは生徒たちが異国の環境の中でどれほど貴重な体験をしているのかが伝わってきます。素晴らしいレポートがたくさん学校に届いているのですが、その中から一つをご紹介します。

(担任：齋藤 智香子)

Miyu Saito

25 May, 2021

SUPPER Hero!

Last week, it was an ordinary day, and my host family called out to go biking to Brackley Beach. Once I refused to go biking because I had a lot of homework to do, but my host father said “There is nothing more interesting than biking in the world! Let’s go!” Then I decided to go biking with them by leaving my homework. (Eventually, I have done my homework after biking!)

On the way to the beach, the most interesting thing happened in the van. My host family loves talking, so they always talk about something, joking, or making some funny sounds. Then my host brother, who is 5 years old, suddenly talks about TV shows. He likes superheroes, and he started to say the spelling of “Superhero” sounds like the opening of kids' TV shows. “S” “U” “P” “P” “E” “R” ...then all of us laughed loudly. “It is the spelling of supper! SUPPERhero!” everyone said. It was so funny because I could not imagine that supperhero is strong and going to protect someone, and sounds yummy! In addition, when we were laughing, someone in the van farted because we were laughing too much. It was so stinky but everybody said they did not. It was also an interesting thing for me.

Through this funny event, finally, we reached Brackley Beach. There were many pathways to biking like a national park, and we biked a lot! It was a nice sunny day, so I was able to see the sunset on a beautiful beach. There were just a few people there because the temperature of the water was still too cold to swim. My host father said it is going to be full of people at the beach because Brackley Beach is a very popular resort spot in PEI and many tourists will have a great time there. I took a lot of pictures, and my three host kids were playing with sand and water. They are always full of energy, so it was a little hard for me playing with them, but now I am also gaining my energy for outside activities, so I am feeling better than at the beginning of May and having a lot of fun now.

May was the turning point of my life in PEI. I'm certain this month has led me to grow up faster. New family, new lifestyle, new hobbies, new experience... It was a great month filled up with new things. Next month, I am going to have a final exam, and start summer vacation. I must brush up on myself more, and I am sure that I will have a wonderful summer here.



1: Biking pathway 2: Brackley Beach 3: Three pretty host brothers and sister

【日本語訳】

2021 年 5 月 25 日

SUPPER Hero!

先週の平日、いつも通り学校から帰宅すると、ホストファミリーが Brackley Beach というバイクコースのあるビーチにマウンテンバイクをしに行こうと私を誘ってくれました。私はその日、時間のかかる高校の宿題があったので、悩んだ末に一度断ったのですが、「この世にマウンテンバイクより楽しい宿題なんて無いよ！いいから行こう！」という自転車好きのホストファザーの押しに負け、結局行くことにしました。

ビーチまで車で移動しているとき、一つ面白い出来事が起こりました。私のホストファミリー、特に三人のホストキッズは話すのが大好きで、よくジョークを言ったり急に歌いだしたりするのですが、この日は5歳のブラザーがあるテレビ番組のオープニングソングについて楽しそうに話していました。その歌はスーパーヒーローの歌らしく、リズムとメロディーに合わせて“Superhero”のスペルを叫び始めました。ですが…

「S!U!P!P!E!R!…」

それを聞いてみんな大笑いしました。

「それ Superhero じゃなくて *SUPPERhero* (夕食の英雄) だよ！」

あまりに美味しそうなヒーローの突然の登場に、車内にいた全員が笑いを抑えらず、ビーチまで約 20 分間みんなで盛り上がったことが今も忘れられません。

ビーチについてすぐ、車から6つの自転車を降ろして、自然公園のバイクコースでマウンテンバイクを楽しみました。バイクコースを少し外れて小道を進むとビーチに繋がっていて、そこを進み砂浜まで行き、バイクから降りて夕陽を眺めました。まだ水が冷たい時期だったので泳ぐことはできませんでしたが、活発なホストキッズは砂や石、木の棒などで遊んでいました。小さい子供たちと一緒に遊ぶのは、末っ子としてずっと育った私には慣れるまで時間のかかることですが、私を外に連れ出して様々な経験や新しい価値観を与えてくれる今のファミリーには感謝でいっぱいです。

五月は私の留学の大きな分岐点となりました。新しいホストファミリーとの出会い、新しい生活、新しい趣味、未知の経験、これらすべてが今までよりずっと早く私を成長させ、留学生としての自分の世界や人とのネットワークを拡大してくれたと実感しています。来月の最後のテストを終えた後は夏休みが待っています。自分自身を確実にステップアップさせ、PEI (the Prince Edward Island: プリンスエドワード島) で充実した夏を満喫したいと思います。

(高校Ⅱ年4組 斉藤実優)



☆ 今後の国際教育講演会の予定について (予定) ☆

- 中学1年生：11月10日(水) グローバルディ
松居友氏(ミンダナオ子ども図書館)
- 中学2年生：11月11日(金) グローバルディ
松居友氏(ミンダナオ子ども図書館)
- 中学3年生：11月26日(金) グローバルディ
華井和代氏(東京大学未来ビジョン研究センター)
- 中学生：11月20日(土)
オンライン国際交流(希望者対象)